



第3回学校運営協議会を12月21日（木）に本校会議室にて実施しました。

第1回、第2回の学校運営協議会で熟議した弘高ねぶたの総括のあと、校務改善プロジェクトチームリーダーである葛西隆教務主任から、「弘前高校における校務改善プランの答申」についての概要説明がありました。現在、校内で進めている働き方改革に伴う諸改善策について、委員の皆様からさらに御助言をいただきました。

あわせて、校長から高校教育を巡る最近の動きと本校の対応（今後の学校運営）についての説明があり、それらについても委員から御質問や御意見をいただきました。教員の多忙化を解消するために働き方改革に取り組まないといけないという考えと、解消のためには部活動改革が必要であるという考えは委員の皆様の共通認識であったようです。ただし、部活動改革については、学校単独できることは限られているという意見や中学校では改革できることでも高等学校では同じようにはいかないのではという意見もあり、今後も継続して熟議することとしました。

また、今回の協議会にはオブザーバーとして、生徒自治会執行委員長が参加し、委員からの質問に応じていました。学校改革に生徒を参画させ、当事者意識や社会を変え、動かす能力を身に付けさせたいという校長の考えから、今回、生徒の代表が参加しました。我々大人の視点だけでなく、学校の主役である生徒の視点からの意見を述べてもらったことで、委員の皆様も学校運営について考える上で大いに参考となったようでした。



次回の学校運営協議会は、2月末に実施の予定で、今年度の総括と次年度に向けての

～委員からの主な御意見～

部活動での外部人材活用は、弘前高校はOBも多いので、同窓会などを通じて呼びかけてみてはいかがか。

Q. 660万円もかけて実施する「弘高ねぶた」だが、生徒の立場から、ここまで費用をかける価値についてどう思っている？

A. 仲間と試行錯誤して制作したり、街を練り歩いたりするのは、学校の中だけではできないかけがえのない経験であり、この経験が将来に役立つので費用に見合っていると思う。（生徒代表より）

話題を中心に熟議をする予定です。今年度最後の学校運営協議会となります。